

西中だより

学校教育目標

目指す生徒像：豊かな心と学ぶ意欲を持ち、たくましく生きる生徒

目指す学校像：すべての生徒に喜びと感動を育み、笑顔あふれる西中学校

川口市立西中学校

〒332-0028

川口市宮町16-1

Tel 048-253-1231

Fax 048-251-6792

令和5年1月10日発行

いつでも、どこでも西中生

校長 三浦 伸之

あけましておめでとうございます。

今年の干支は癸卯（みずのとう）です。これまでの努力が実り始め、勢いよく成長する年、新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。飛び跳ねるうさぎのように世の中が好転しますように、穏やかなうさぎのように世の中が平穏でありますようにと願うばかりです。3学期も喜びと感動を原動力にして、今年の干支らしく飛躍と向上を目指し、生徒たちとともに新たなことに挑戦していきたいと思えます。

本年もよろしくお願いたします。

1月4日、仕事初めの日のことです。朝の出勤時に車で校門を通過したところ、体育館に向かって歩いていた女子バレーボール部の生徒が私に向かってあいさつをしてくれました。校門と体育館の入口までの間は数十メートルはあると思います。黄色い車は校長の車とわかっていても、私は車の中でしたし、お互いの距離は離れていましたが、それでも遠くの私にあいさつを送ってくれた生徒のおかげで、最高の仕事始めの朝となりました。

このような光景はまだ他にもあります。朝練習の野球部の生徒たちは、着替えた後に活動場所まで校舎の裏を走って移動します。その途中に校長室があるのですが、生徒たちは窓ガラス越しに校長室の中にある私に向かって、大きな声であいさつをして通り過ぎていきます。その場に顧問の先生の姿はありませんが、走る姿、あいさつをする姿など、生徒自らの行動に朝からすがすがしい気持ちになれます。

校門の前の手押し信号の横断歩道は、朝の登校時間になると原町小の児童と西中の生徒で大変混雑します。そのような中、いつも3人で登校してくる生徒は、原町小の児童が渡りきるまで待って、次の信号で横断歩道を渡る姿があります。

原町小の保護者の皆様、毎朝の横断歩道での見守りに感謝申し上げます。

川口駅前の商業施設の中で、後ろから声をかけられたこともありました。自転車に乗った生徒は、通りすがりにこちらを見て軽く会釈をしてくれたこともあります。街中での普段着の生徒は、本校の生徒なのか見分けられないこともあります。しかし、そのまま気付かなかったことにできるような場面でも自ら進んで行動に移してくれる生徒たち、制服から普段着に着替えてもいつでも、どこでも変わらない西中生の姿に心が癒されます。

1月9日は、成人年齢が引き下げられてから初めて成人の日でした。新任校長として着任した市内の中学校の卒業生がはたちになり、1月9日に同窓会を開くので出席してほしいとの連絡がありました。学年の同窓会ですから、当時の学年職員と元生徒たちで十分なのではと思いましたが、幹事さんからのリクエストということもあり出席させていただきました。卒業してからの5年の月日は、皆をすっかり大人にしていました。

ある元生徒が「校長先生が『おかげさまで』という言葉は、どこでも使える言葉だと教えてくれたことを覚えています。」と報告してくれました。声は元生徒の懐かしい声でしたが、言葉遣い、話し方、謙虚な姿勢は見違えるほど立派な大人へと変容していました。

中学校は社会人になるため、大人になるための準備をするところでもあります。数年後、西中生も成人となり、はたちを迎えます。未来の生徒の姿が楽しみな成人の日でした。